

4. 住宅改善に失敗しないために

高齢者の身体状況、本人や家族の住宅改善に対する気持ち、家族構成などは多様です。住宅改善は、高齢者や家族と様々な専門家が関って進めていくことになりますが、場合によっては、期待していた成果が得られないこともあります。

住まいの整理、暮らし方の見直し、福祉用具や介護サービスの利用、住宅改修など、住宅改善を進める上で留意することが必要な、共通のポイントがあります。

住宅改善に失敗しないためのポイント

- ① 住宅改善の目的は、高齢者が安全に安心して暮らし続けられる住まいの環境を整えることであり、生活そのものの改善である
- ② 高齢者や家族の気持ちは揺れ動くことがあり、専門家を交えてそれらの気持ちを大切にしながら、丁寧に住宅改善の方法を検討する
- ③ 高齢者が入院などで不在中の住宅改善は、本人の身体状況や気持ちを十分に反映しないことがあるため、できるだけ避ける
- ④ 高齢者は環境の変化に適応することが難しい場合があるので、住宅改善前の生活や環境の連続性を大切にする
- ⑤ 高齢者だけではなく、家族の意向も大切に、家族みんなの暮らしを考えながら進めていく
- ⑥ 県や市町村で行っている住宅相談などを通し、経験豊かな医療、福祉、建築などの専門家の協力、連携によって進める
- ⑦ 現在の身体状況への対応ばかりでなく、家族構成を含めた将来の変化も予測した住宅改善を行う
- ⑧ 住宅改善の意図や方法を、高齢者、家族、関係する専門家間でできるだけ共有し、理解しあう
- ⑨ 福祉用具の使用状況や住宅改修後の生活状況を点検し、問題があればその都度必要に応じた対応をしていく
- ⑩ 住宅改修は、高額になる場合もあるので、経験豊かな建築士や施工者と十分協議しながら、費用についても納得した上で進める

